総合的な探究の時間の第1の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

- 「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。
- 確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒ひとりひとりに明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。
- 自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。
- 特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。

各学校で定める目標と育成する資質・能力

- (1) 人間関係形成・社会形成能力
- (2) 自己理解・自己管理能力
- (3) 課題対応能力
- (4) キャリアプランニング能力

総合的な探究の時間の学習評価

- (1) 自己評価アンケートを実施
- (2) Q-Uテストの実施
- (3) ポートフォリオ、キャリアパスポートの活用
- (4) 資料作成、発表態度、相互評価

生徒の実態

- ・ 基本的な生活習慣が確立された生徒と自己の生活のコントロールが十分でない生徒がいる。学力層の幅が広く、自学自習の習慣が未熟なため、授業と家庭学習の計画実行が苦手な生徒がいる。
- ・ ボランティアや地域の活動に積極的に関わる生徒が多く、集会や行事にも活動的に取り組む生徒が多い。
- ・ いじめや人権を無視した行動をとる生徒は比較的小さいが、SNSの使い方トラブルになることがある。
- ・ 就職・進学等の進路希望先は多様である。

生徒の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする生徒への指導

- ・ 生徒の障害特性を的確に把握し、情報を共有し、生徒の指導に具体的に生かす。
- ・ 生徒・保護者の「生きにくさ」「困り感」に寄り添う支援や「合理的配慮」を施す。
- ・ リラックスルーム及び保健室の効果的な運営を目指す。

目指す生徒の姿

- ・ 自ら考え判断し課題を見つけ、他者と協力して解決できる生徒
- ・ 自己実現を目指してひたむきに努力し、自分の考えを表現できる生徒
- ・ 神栖高校生としての誇りをもち、地域社会に貢献する生徒

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力

KAMISU Initiative

- (1) 知識及び技能
情報の処理・理解、英会話
- (2) 思考力、判断力、表現力
コミュニケーションスキル・他者に働きかける力
- (3) 学びに向かう力、人間性等
リーダーシップ、課題発見・原因の追及・解決

進路・将来の生き方について

- (1) 知識及び技能
地元企業への理解
- (2) 思考力、判断力、表現力
コミュニケーション能力、意見表明
- (3) 学びに向かう力、人間性等
学ぶこと・働くことの意義や役割の理解

学習活動、指導方法等

- ・ JICA 講演 JICA の国際協力を切り口に SDGs の取り組みを知り、SDGs を通じて自分たちにできることを考える。自己肯定感や自己有用感を高めるのに効果的である。
- ・ 夏期学習会 予備校講師による英語・数学・国語の演習授業を対面形式で行う。
- ・ インターンシップ 自分の希望する業種での職場体験を通して、進路について実感を伴った理解が得られる。
- ・ 探究型インターンシップ 株式会社リクルートを訪問し、複数の協力関連企業から提示される課題に対し、グループ毎に解決策を企画・立案し発表を行い、意見交換を通して考えを深める。
- ・ 校外活動「TGG体験型英語学習施設研修」 オール・イングリッシュという環境のもと、「伝わる」「わかる」「協働する」を体感することにより、日常の学習意欲の向上につなげる。
- ・ 学級開きのエンカウンター 4月の入学後または、新クラス始動後において構成的グループエンカウンターを通して、より良い人間関係の構築を目指す。

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

- ・ 総合的な探究の時間実施教員・・・1・2学年担当教職員を中心に情報共有しながら実施する。
- ・ アクティブラーナー育成プラン・・・1学年担当者及び採用1～3年目の教員を対象とした校内研修を通して、人材育成を図る。（社会の変化と学びの変化、非認知能力の重要性について）
- ・ インターンシップとして連携・・・地域企業
- ・ 地元市町村（神栖市）・市町村教育委員会・地元近隣中学校・SCとの連携